

運輸安全委員会ダイジェスト

JTSB (Japan Transport Safety Board) DIGESTS

第35号 (令和2 (2020) 年12月発行)

船舶事故分析集

小型旅客船の安全運航に向けて

～ドンッ！腰が痛い！小型旅客船における旅客の脊椎骨折事故の防止のために～

1. はじめに	1
2. 旅客脊椎骨折事故発生時の状況	2
3. 旅客脊椎骨折事故の事例	4
4. 旅客脊椎骨折事故事例の分析	6
5. 旅客脊椎骨折事故の防止対策	10
6. おわりに	15

1. はじめに

旅客の脊椎骨折事故が急増！

運輸安全委員会が発足した平成 20 (2008) 年から平成 31/令和元 (2019)年までの 12 年間に、旅客船の旅客に死傷者が発生して調査対象とした事故は 115 件あり、そのうち、**小型旅客船^{※1}の旅客に死傷者が発生した事故が 71 件と約 6 割**を占めています。

そのなかで小型旅客船において、旅客が脊椎骨折を負った事故 (以下「旅客脊椎骨折事故」という。) が 18 件あり、平成 27(2015)年から発生件数が低く推移していましたが、**平成 31/令和元(2019)年には、4 件の事故が発生し、13 人の旅客が脊椎骨折を負いました。**

(図 1 参照)



※1 本資料で「小型旅客船」とは、総トン数 20 トン未満の「定期旅客船」、「交通船」、「海上タクシー」、「遊覧船」等をいい、「遊漁船」、「瀬渡船」等は含みません。